

一般社団法人 Nagano Tech Style Lab キックオフ・シンポジウム

『部活動の地域移行』
が生む 新しい人材育成のカたち
～教育から共育へ 競争から共創へ～
令和7年8月31日（日） 14:30～16:50

Naganoから世界へ 教育から共育へ 競争から共創へ
地域・企業・教育がつながる新しい共育・共創のスタートに
あなたも立ち会いませんか？

0

0

Nagano Tech Style

[ホーム](#) [Nagano Tech Style Labとは](#) [指導者登録](#) [お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#)


8/30(土)開催 小学生ロボコン2025
小学生ロボコン2025ながの予選会
Great Big Bridge

By nagatech_0221 / 2025年6月20日

8/30(土)開催 小学生ロボコン2025...

Read More

小学生ロボコン2025ながの予選会

By nagatech_0221 / 2025年6月20日

8/30(土)開催 小学生ロボコン2025...

Read More

検索

Nagano Tech Style Lab・キックオフシンポジウム開催

小学生ロボコン2025ながの予選会

Nagano Tech Style Lab <https://techstyle-lab.jp/>

1

Nagano Tech Style Labの目的

- 本法人は、長野県におけるモノづくりの技術文化を継承し、技術・テクノロジー・デザインの教育と実践的な学びの場を提供することを通じて、小学校並びに中学校における技術系及び美術系部活動の振興を図り、もって地域産業と地域人財教育の発展に寄与することを目的とする。

Nagano Tech Style Lab <https://techstyle-lab.jp/>

2

そもそも部活動の地域展開（移行）とは

- 従来：中学校・高校の教員が担ってきた部活動の指導
- 以降：地域のクラブ・団体などで移行
- スポーツ庁と文化庁が2022年12月に策定したガイドラインに基づき、まずは2023年度から3年間かけて、「公立中学校」の「休日」の「運動部」の部活動を優先して、段階的に移行

スポーツ庁・文化庁(2024)学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン³

3

学校部活動の地域移行の目指すところ

- ・「**地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。**」という意識
- ・生徒の望ましい成長を保障できるよう、**地域の持続可能で多様な環境の一体的な整備**により、**地域の実情に応じスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することを目指す**
- ・学校部活動の教育的意義や役割については、**地域クラブ活動**においても**継承・発展**
- ・さらに、**地域での多様な体験や様々な世代との豊かな交流等を通じた学びなどの新しい価値が創出されるよう、**
- ・学校教育関係者等と必要な連携を図りつつ、発達段階やニーズに応じた多様な活動ができる環境を整えることが必要である。

スポーツ庁・文化庁(2024)学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン

4

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ 概要②

2. 改革推進期間の成果と課題

- 令和5年度から「改革推進期間」がスタートし、国の実証事業等を通じて、地方公共団体による取組が着実に進捗。既に休日の地域展開を進めている地方公共団体等も存在しており、今後も更に改革が進捗していく見込み。
- 地方公共団体の創意工夫により、地域の実情に応じた運営形態のモデルや指導者確保等の課題の解決に向けた方策等も見出されている。
- 他方、改革途上にある地方公共団体も多い。これまでの改革の歩みを止めず、より一層の改革を進めていくことが必要。そのために、国において実証事業等の成果と課題の整理・分析を行い、課題の解決方策等も明らかにし、広く普及していくことが重要。

3. 今後の改革の方向性

- 地方公共団体が幅広い関係者の理解と協力の下、平日・休日を通じた活動を包括的に企画・調整し、多様な選択肢の中から地域の実情等に合った望ましい在り方を見出し、改革の方針を決定することが重要（生徒・保護者等への丁寧な説明も必要）。

※休日の地域展開とともに、平日の地域展開もあわせて、できることから取り組むことなどあり得る。

改革の 進め方	・休日については、次期改革期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。 ※地域の実情等を踏まえつつ、できる限り前倒しでの実現を目指すことが望ましい。 ※中山間地域や離島など特殊な事情により地域展開に困難が伴う場合等には、国としても、きめ細かなサポートを通じて地域展開を後押し。それでも地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を適切に実施。 ・平日については、各種課題を解決しつつ更なる改革を推進。まずは、国において、地方公共団体が実現可能な活動の在り方や課題への対応策の検証等を行うとともに、地方公共団体において地域の実情等に応じた取組を進める。
次期 改革期間	「改革実行期間」（前期：令和8～10年度 ⇒ 中間評価 ⇒ 後期：令和11～13年度） ※現時点で着手していない地方公共団体においても、前期の間に確実に休日の地域展開等に着手。 ※平日の改革については、前期において活動の在り方や課題への対応策等の検証を行った上で、中間評価の段階で改めて取組方針を定め、更なる改革を推進。
費用負担 の在り方等	・地方公共団体において、地域の実情等に応じて安定的・継続的に取組が進められるよう、受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方等を検討する必要（公的負担については国・都道府県・市区町村で支え合うことが重要）。 ※受益者負担の水準については、国において金額の目安等を示すことを検討する必要。 ・企業版ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングをはじめとした寄附等の活用等、新たな財源の確保も有効に組み合わせることが重要。 ・家庭の経済格差が生徒の体験格差につながることをないよう、経済的に困窮する世帯の生徒への支援については確実に措置を行う必要。 ・部活動指導員の配置について、次期改革期間においても一定の範囲で支援を行っていく必要。

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ(2025)

5

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ 概要④

各論（個別課題への対応等）

1. 地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備等

- 地域全体での連携体制の整備（地方公共団体と関係団体等との連携・協働、コーディネーターの配置、学校との連携等）
- 運営に関するサポート体制の整備、運営を担う人材の確保・育成
- 組織体制・財政基盤の整備
- ICT活用による運営業務の効率化 等

2. 指導者等の質の保障・量の確保

- 多様な人材の発掘・マッチング・配置（人材バンクの設置・運用、大学生の活用促進、希望する教職員の兼職兼業等）
- 適切な資質・能力の保障、人材育成（研修会開催、公認指導者資格の取得促進、指導の手引き作成、適切な処遇の確保等）
- 平日（学校部活動）と休日（地域クラブ活動）の一貫指導 等

3. 活動場所の確保

- 学校施設等の有効活用（地方公共団体等による協力等）
- 認定を受けた地域クラブ活動の優先利用・使用料減免等
- 活動場所の管理運営の効率化等（ICT活用、鍵の受渡し等の負担軽減、指定管理者制度等の活用、学校施設の複合化等）

4. 活動場所への移動手段の確保

- 既存車両の有効活用（スクールバスやスポーツ団体のマイクロバス等）
- 地域公共交通との連携等（運行ダイヤの見直し検討、利用料への補助、AIオンデマンド交通や公共ライドシェアの活用等）
- 多様な政策分野との連携・協働等（介護・福祉・医療等）

5. 大会やコンクールの運営の在り方

- 生徒の大会等の参加機会の確保（地域クラブ活動の認定制度の導入に合わせた大会参加規程の見直し、行政・関係団体等による協議の場の設定等）
- 大会に参加する生徒への支援等（交通費・宿泊費の支援等）
- 大会の運営及び引率等の体制整備（地域クラブ活動関係者や保護者等の参画促進、大会運営の外部委託等） 等

6. 生徒・保護者等の関係者の理解促進

- 国における取組（ポスター・チラシ・動画等、ポータルサイトやSNS等を通じた広報、説明会・シンポジウム等の開催）
- 地方公共団体等における取組（学校と連携した生徒等へのきめ細かな情報提供等、体験会等の開催、生徒等の希望を把握するためのアンケート調査やワークショップの実施等）

7. 生徒の安全確保のための体制整備

- 事故や暴力・暴言等の不適切行為やいじめの防止（指導者・保護者・生徒等への研修等、組織的な体制整備、相談窓口の活用促進等）
- 事故や不適切行為が発生した場合の責任の所在の明確化
- 生徒及び指導者の保険への加入（傷害保険＋賠償責任保険）

8. 障害のある生徒の活動機会の確保

- 多様な地域の関係者の参画（障害者スポーツセンター、地域のバラスポーツ協会、放課後等デイサービス実施事業者等）
- 新たなスポーツ・文化芸術活動の機会の提供
- 障害者対応指導ツール等を活用した指導者の資質・能力の向上 等

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ(2025)

6

長野県では、部活動の地域移行をとおして、子どもたちが生涯にわたってスポーツ・文化芸術に親しめる環境の構築を目指しています！

部活動になかったバスケットボールが地域クラブでできるようになった

専門的な指導者のおかげで技術の向上が実感できるようになった

他校や他校種の生徒と交流ができるようになった

一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をことごとく追求できる「探究県」長野の学び

地域の方が指導してくださるようになって地域が身近に感じられるようになった

自分の興味や地域ならではのスポーツ・文化が選択しやすくなった

授業の準備する時間が増えて、生徒の学力向上につながった

地域全体のこれからのあり方について話し合う機会が増えた

学び応援キャラクター「熊川なび助」
©長野県教育委員会使用なび助

長野県教育委員会

7

小・中学生、保護者様
地域の皆様

中学校の部活動を 休日から段階的に 地域クラブ活動に移行します

一人ひとりの
「好き」や「楽しい」、「なぜ」を
とことん追求できる
「探究県」長野の学び

「第4次長野教育振興基本計画」における以下の「施策の柱」の具現化を図ります

- 生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点をつくる
- 文化芸術・スポーツの身近な環境を整え、共感と交流が生まれる

長野県教育委員会は、新たな地域クラブ活動を通して、以下の姿を目指します

- ◆地域の実情や願いに応じたスポーツ・文化芸術活動を充実
- ◆子どもたちの多様なニーズに応じた活動機会の創出
- ◆他校の生徒との交流による社会性の伸長
- ◆多世代交流機会の増加による地域コミュニティの強化
- ◆クラブ単位による各種大会・競技会等への参加
- ◆教員の働き方改革を推進し、地域の学校教育の質の向上

■部活動の地域移行って？
学校部活動を地域の多様な主体が運営・実施する地域クラブ活動へと移行していくものです。
学校とも連携しながら、多様な活動を、可能な限り低廉な会費で実施します。

(スポーツ庁 Web広域マカシン DEPORTARE 数字で見るスポーツの盛況 #12 (2023年3月29日) 参照)

本県の「部活動地域移行」に関わる会議資料等はこちら
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/hokenko/chiiikou.html>

【スポーツ関係】

保護者支援課 学校体育係

電話 026-235-7448

FAX 026-234-5169

E-mail sports@pref.nagano.lg.jp

【地域クラブ活動 本部会社先】

文化・芸術関係

学民の交流推進課 芸術教育推進係

電話 026-235-7434

FAX 026-235-7495

E-mail kyogaku@pref.nagano.lg.jp

ALL信州で支える 「地域クラブ活動」って何？

(Q1) 県内中学校の部活動における課題は？

- 生徒数の減少により、学校単独での活動や大会参加が難しい
- 廃部や休部により、生徒の興味・関心のある部活動の保障が難しい
- 専門外報酬が60%以上。専門的指導がでず、教員の負担感も高まっている

(Q2) 地域クラブ活動の目指すところは？

- 「地域の子どもは、学校を含めた地域で育てる」の理念のもと、持続可能なスポーツ・文化芸術活動の拠点を地域で築けるように
- 生徒の多様なニーズに応じた活動を地域において安定的に行えるように
- 地域において多世代と関わる機会が増え、地域活性化の一助になるように
- 教員の働き方改革が進み、教科指導等の充実が図られ、学校教育の質が向上するように
- 研修等によって指導者の資質向上に努め、安全・安心なクラブ活動が展開できるように

(Q3) 県の方針（移行時期や平日の活動）は？

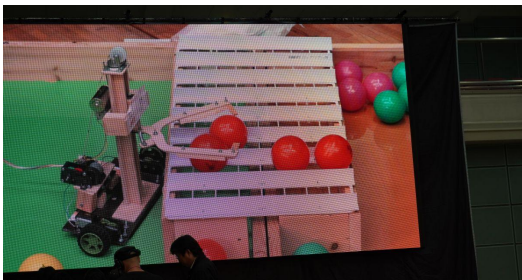
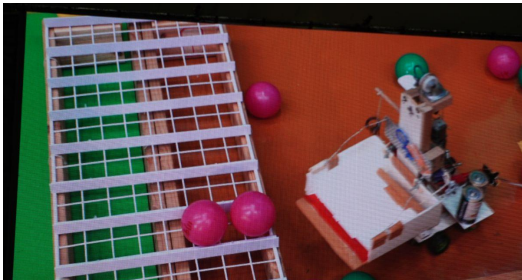
- 原則として、休日・平日ともに全ての中学校部活動を新たな地域クラブ活動に移行します
- 国が示す令和7年度までの改革推進期時に新たな地域クラブ活動の環境整備を鋭意進め、可能な限り早期の実現を目指しつつ、地域の実情に応じ、令和8年度末を目途に休日の中学校部活動の地域クラブ活動への移行完了を目指します
- 平日はできるところから移行を進め、難しい場合でも生徒の活動を保障しつつ、教員の勤務時間外の部活動指導を減らす工夫を検討・実施します

(Q4) 地域や保護者にできることは？

- 地域クラブ活動の指導者、又は協力者として「信州地域クラブ活動指導者リスト」への登録にご協力をお願いします。
- ※「信州地域クラブ活動指導者リスト」への募集案内はこちらから
<https://forms.office.com/r/G9p29G1w8I>
- 保護者の皆様方には、クラブ運営に係る会費や練習会場までの送迎等の負担をおかけする場合がございます。各自自治体会費の低廉化を求めるとともに、支援のあり方について研究してまいります

長野県教育委員会

8

長野県中学生ロボットコンテスト N-Robo



9

大会情報

善光寺平

競技情報

Jr.特許検索

N-robot資料

問い合わせ

アイデア1st！長野県中学生ロボコン

長野県中学生
アイデア1st
ロボットコンテスト
公式web



善光寺平

大会情報

大会情報

大会情報

大会情報

大会情報

善光寺平ロボコンプレゼ
ンテーションコンテスト

長野県中学生ロボコン 県
大会 決勝進出チーム

ロボコン2023 ポスタ
ーコンクール

2022年度第21回長
野県中学生ロボコン
テストN-robot部門結果...

ロボコン県大会 “ロボ
ット大賞” メダル

長野県中学生ロボコン
2024 ルールver1.1

2001年から四半世紀の歴史

長野県中学生ロボットコンテスト＝「N-robot」の紹介

◎ 2014.03.17

長野県中学生ロボットコンテスト＝「N-robot」の紹介

本サイトは、長野県の中学生ロボットコンテスト（略してN-robot）の運営サイトです。
本コンテストは、長野県内の中学校技術科の先生方が運営をしており、2001年から続いています。
N-Robotの中心となる11月の県大会では、毎年30校、100チーム以上が参加し、そのアイデアを競い合っています。本サイトで、大会や競技情報を得ていただくと共に、N-robotの取り組みについても知っていただければ幸いです。

サイト内を検索

最近の投稿

あの星の座標へ 2024 ポスター

あの星の座標へ 2024

長野県中学生ロボコン2024 競技名アンケート

エコマラソン長野実行委員会

ジャンル：科学技術／環境

エリア：長野エリア

中学生が省エネカー作り・エコラン

活動目的

燃費の極限を追求するエコカー。長野市内および県内には、全国的に注目された中学生チームをはじめ高等学校、専門学校、国立高専から社会人まで、幅広いチームが全国大会に出場しています。中学生が材料調達からエンジン組み立て、車体の溶接、大会出場までを自分たちの技術を向上させながら取り組む姿は、新聞・テレビなどでも大きく取り上げられてきました。また、高校、高専や社会人のモノづくりにかける情熱は、多くの市民の共感を生んできました。本会では、自作エコカーの燃費計測会「エコマラソン長野」を開催し、自作エコカーを製作する中学、高校、高専の生徒・学生達と、それをサポートする社会人や地域との交流を図り、地球温暖化防止活動の実践と次世代を担う技術者育成を広く普及・啓発することを活動目的とします。

活動実績

■第1回(2007) 【燃費363.47km/ℓ】エントリー12チーム

■第2回(2008) 【燃費515.11km/ℓ】エントリー22チーム

■第3回(2009) 【燃費1029.86km/ℓ】エントリー30チーム

■第4回(2010) 【燃費778.17km/ℓ】エントリー30チーム

■第5回(2011) 【燃費662.72km/ℓ】エントリー24チーム

■第6回(2012) 【燃費284.30km/ℓ】エントリー21チーム

■第7回(2013) 【燃費450.03km/ℓ】エントリー19チーム



長野県みらいベース：公共的活動応援サイト、<https://www.mirai-kikin.or.jp/group/1285/>

長野高専で活躍する先輩より
齋藤 康輝さん、機械工学科4年



高専に行こうと決めたきっかけはなんですか？

小さいころから工作が好きで、将来は工業系の学校に進みたいという考えはありましたが、具体的な道路は全く考えていませんでした。

中学生の時、自作エコカーの燃費を競う「エコラン」の楽しさに出会い、中学校卒業後もエコランを続けたいと思ったため、高専を志望しました。



部活で担当したエコランカー

長野高専：長野高専で活躍する先輩より：楽しめたから続けられたこと（2021）・ <https://www.nagano-nct.ac.jp/life/message/2101-3>

12

Nagano Tech Style Labの事業

- ・技術系部及び美術系部活動の受け皿となる地域クラブ活動の企画・運営
- ・モノづくりを通しての子どもたちの技術・テクノロジー・デザインへの興味関心や創造性の育成
- ・技術・テクノロジー・デザイン教育の指導者の登録及び派遣
- ・技術・テクノロジー・デザイン教育に関する講習会・研修会・イベントの企画・開催
- ・ロボットコンテスト等の技術・テクノロジー・デザイン教育に関する教育事業の支援
- ・産業フェアや企業見学の実施及び参加支援
- ・その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

13

13



14

パネルディスカッション

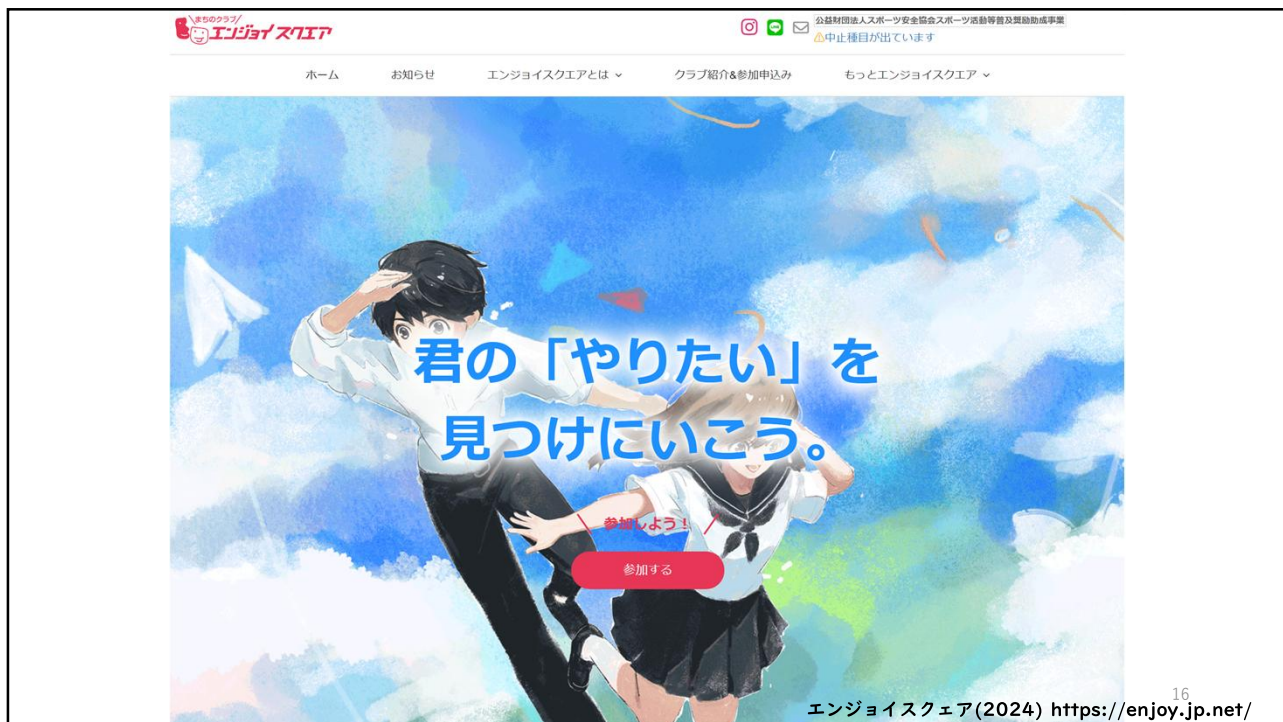
「部活動をめぐる“共育”のカタチ——企業×行政×教育×地域」

- 長野県教育委員会事務局学びの改革支援課
- 株式会社相和 代表取締役
- 長野市教育委員会事務局学校教育課
- Nagano Tech Style Lab理事

小林輝紀様
関 俊樹様
大野高志様
土田恭博氏

15

15



16

Enjoy Squareとは？

—

地域の人や企業が協力して実現する
「まちのクラブ活動」です。



Enjoy Square

「Enjoy Square」とは、簡単に言うと「まちのクラブ活動」で、いわゆる地域クラブとして中学校の部活動の地域展開（地域移行）を見据えた取り組みとして全国から注目されています。長野県飯田市、下伊那郡の地域の人たちや企業が協力し、小学生や中学生のみなさんが80種目以上の文化芸術やスポーツができる環境を用意しました。

Enjoy Square (2024) <https://enjoy.jp.net/>

17

飯田下伊那 文化芸術・スポーツ まちのクラブ！エンジョイスクエア

- ・主催：エンジョイスクエア実行委員会
- ・共催：長野県教育委員会事務局 南信教育事務所 飯田事務所・飯伊市町村教育委員会 連絡協議会（飯田市／松川町／高森町／阿南町／阿智村／平谷村／根羽村／下條村／売木村／天龍村／泰阜村／喬木村／豊丘村／大鹿村）・（公財）飯田市スポーツ協会・下伊那郡体育協会
- ・後援：飯田商工会議所 協力：飯田下伊那PTA連合会
- ・パートナー企業：阿智エ務店（株）／（株）阿智昼神観光局／アトラスアスレチック（一社）／ALIS（株）／イイダックス（株）／飯田マッブツ（有）／石の澤屋（株）／（有）井坪エ務店／伊坪ビジネス（株）／太田建設（株）／長姫調査建設設計（有）／（株）お食事週休（株）／木下建設（株）／キンボーム川精機（株）／小竹建海メチノ（株）／（株）道（株）／（株）TORITSU（特非）／日本武道総合格闘技連盟／花井うち地（株）／（株）南信州・飯田産業（株）／ひまわり（有）／ボソン（有）／みなみ信州平谷リゾート／未来（株）／（株）南信州・飯田産業（株）／綿半（株）／（株）松本（株）（順不同・敬称略）

エンジョイスクエア(2024) ¹⁸
<https://enjoy.jp.net/>

18



千曲坂城クラブ

中学校部活動の地域移行
～千曲市・坂城町に新たなスポーツ・文化芸術環境構築を目指して～

千曲坂城クラブ

ホーム 千曲坂城クラブとは クラブ会長挨拶 クラブ組織・規約 専門部・指導者 指導者研修 その他

千曲坂城クラブとは

クラブ会長挨拶

クラブ組織・規約

専門部・指導者

専門部年間計画

指導者研修

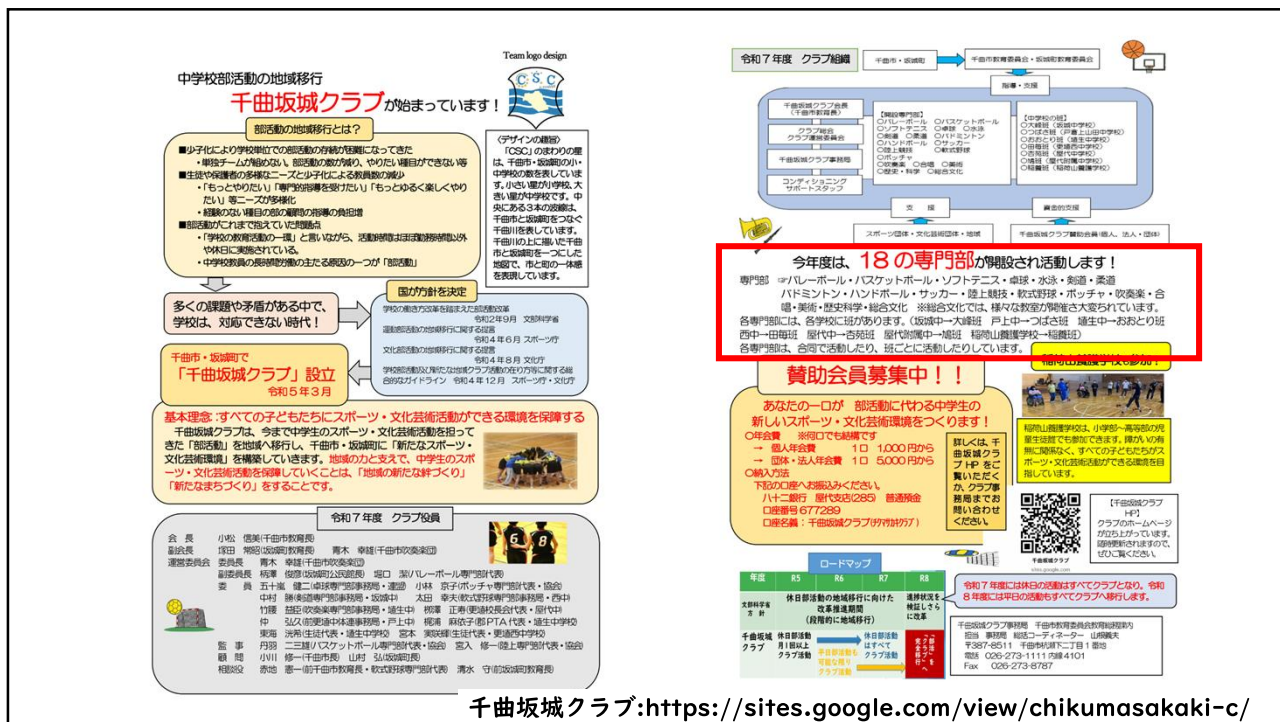
賛助会員について

お問い合わせ等

スポーツ・文化芸術活動を通してWell-beingを実現しよう！

千曲坂城クラブ:<https://sites.google.com/view/chikumasakaki-c/>

19



地域展開（移行）クラブの方式

- ・新規立ち上げタイプ→エンジョイスクエア様
民間主導で多様な活動
- ・部活動リニューアルタイプ→千曲坂城クラブ様
行政主導で既存部活動を無理なく展開させていく



ハイブリッドタイプ→ Nagano Tech Style Lab
 既存活動を展開させつつ，新しい活動も入れて，
 キャリア教育的視点を加味
 →その先の人材育成ともリンク

地域展開（移行）クラブの方式

- ・新規立ち上げタイプ→エンジョイスクエア様
民間主導で多様な活動
- ・部活動リニューアルタイプ→千曲坂城クラブ様
行政主導で既存部活動を無理なく展開させていく



ハイブリッドタイプ→ Nagano Tech Style Lab
既存活動を展開させつつ、新しい活動も入れて、
キャリア教育的視点を加味
→その先の人材育成ともリンク

22

22

Nagano Tech Style Labの展開

指導者・活動団体募集



技術地域クラブ

活動団体A

活動団体B

活動プラットフォーム提供
人・資金・情報・広報

・エンジョイ
スクエア様
・千曲坂城クラブ様

他団体と連携

・企業様
・関係団体様

企業連携

23

パネルのまとめ

- 長野県製造業盛ん。社団法人として初。先進モデルに（小林様）
- スポーツ系は1年前倒し。場所，費用は課題。（小林様）
- 地域展開のメリットのあるものにしたい（小林様）
- 県の人材バンク登録。様々な活動（小林様）
- 長野県中小企業同友会，高校での企業説明会（関様）
- 地域クラブと連携し，企業の認知もあげる。（関様）
- 双方にメリットがあれば（関様）
- 多くの人に参画いただく仕組み作り（大野様）
- ミライ発見プロジェクト，商工会との取り組み（大野様）
- 新たな価値を創出。スポーツ135紹介。様々な競技（大野様）
- 価値観の転換（大野様）

24

24

パネルのまとめ

- 生徒のアンケート。2極化。技術系37部活。R6 1000人（小林様）
- ロボコン奥が深い。予測不可能な現代（土田）
- 不登校増加，通信制高校増加（土田）
- ロボコン，エコラン（土田）
- ナガノで行うことの意味（土田）
- 長野市と下諏訪町で実証事業。法人で取りまとめる（土田）
- 具体的なスケジュール提案（土田）
- 活動場所の課題

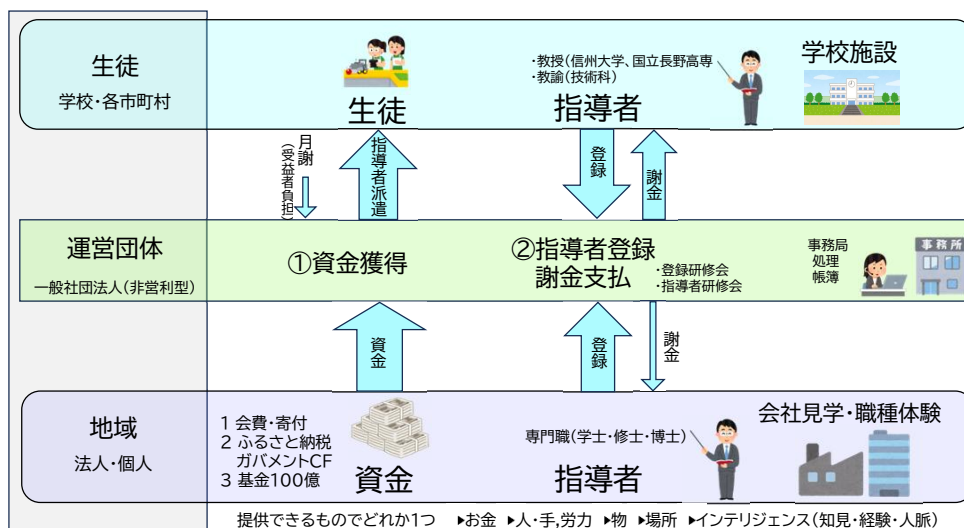
25

25



『モノづくり・人づくり・地域づくり』地域プラットフォーム

地域クラブ活動【技術部編】



外部監査組織



外部相談窓口



26